



平成30年8月10日

各位

会社名 株式会社小田原機器  
 代表者名 代表取締役社長 入山 圭司  
 (コード番号: 7314)  
 問合せ先責任者 取締役経理部長兼総務部長 平野 光利  
 T E L 0465-23-0121

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成30年2月13日に公表した業績予想を下記のとおり修正することとなりましたのでお知らせいたします。

#### 記

1. 平成30年12月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値と実績値との差異  
 (平成30年1月1日～平成30年6月30日) (単位: 百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,245	△349	△346	△230	△74円86銭
今回発表実績値(B)	1,027	△758	△742	△871	△282円92銭
増減額(B-A)	△217	△409	△396	△641	
増減率(%)	△17.5	—	—	—	
(参考)前期実績 (平成29年12月期 第2四半期)	2,030	△194	△177	△123	△39円96銭

2. 平成30年12月期通期の連結業績予想数値の修正  
 (平成30年1月1日～平成30年12月31日) (単位: 百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,673	203	208	146	47円51銭
今回発表予想(B)	3,729	△718	△699	△833	△270円17銭
増減額(B-A)	△944	△921	△908	△979	
増減率(%)	△20.2	—	—	—	
(参考)前期実績 (平成29年12月期)	3,121	△591	△570	△31	△10円13銭

### 3. 修正の理由

当社グループの主力事業である運賃収受機器事業につきましては、東京オリンピック・パラリンピックに向けた設備更新需要を背景に、主に首都圏のバス事業者の機器更新需要が見込まれております。当社グループにおきましては、次世代型のICカード機器システムの導入に伴う代替需要の取り込みを喫緊の課題として積極的な営業活動を展開し、首都圏における設備需要について着実に受注を頂いておりますが、下期以降に順次納入を見込んでいた受注案件について納入延期が見込まれております。

#### (1) 第2四半期連結累計期間

売上高につきましては、当初上期に予定されていた受注案件の一部について翌期以降へ売上が先送りとなった影響等により、前回発表予想を下回る見通しとなりました。

利益面につきましては、売上高の減少に加えて、新規性の高い開発案件について数億円規模の受注損失が見込まれることにより売上総利益率が低下した結果、前回発表予想を下回る見通しとなりました。

#### (2) 通期

売上高につきましては、当初下期に予定されていた大型の受注案件について客先要望により次世代型ICカード機器システムの運用開始時期が変更となったこと及び開発計画の遅延により翌期以降へ売上が先送りとなった影響により、計画を大幅に下回る見通しとなりました。

利益面につきましては、第2四半期連結累計期間と同様に、売上高の大幅な減少に加えて、新規性の高い開発案件について数億円規模の受注損失が見込まれること等により売上総利益率が低下した結果、前回発表予想を大幅に下回る見通しとなりました。

当期の期末配当金につきましては、継続的な配当を実施することとし、平成30年2月13日に公表いたしましたとおり、1株当たり年間配当15円の配当を行う予定です。

**【注】** 本資料記載の業績予想につきましては、現段階の入手可能な情報に基づいて判断しておりますが、実際の業績は様々な要因により上記の予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上